

自治体全部門を対象とした気象情報活用による業務効率化の有用性検証

☒ 住む ☐ 癒す ☐ 学ぶ
☒ 動く ☒ 楽しむ ☒ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

近年極端気象により、線状降水帯の発生や熱中症対策など、気象情報の活用は防災の部門に留まらず、様々な自治体業務の中での必要性が出てきております。一方で、これまで気象情報を活用してこなかった自治体各部門の皆様の業務の中で、どういう業務の中で情報を確認すると、極端気象に対応しつつ業務効率化にも繋げられるのか、認識がされていない面もございます。この事業の中で、自治体の様々な部門における気象情報の活用余地とその効果検証をしたいと考えています。

②提案の概要

- ・ウェザーニュースの業務用気象情報を自治体各部門でご利用いただき、自身の業務への寄与の程度についてご意見等をいただく。
- ・ご提供する情報は、ウェザーニュースのアプリとwebブラウザ双方でご確認いただけます。様々な気象要素に関する情報を取り揃えた現在、開発強化中のサービスとなっています。
- ・具体的には、気象情報を用いて、各自治体におけるイベント開催時の開催可否判断や市が保有する設備・施設の雷による損傷・停止リスクの回避、学校教育における登下校時の荒天対応、部活動/学童保育における熱中症対策、職員の通勤影響を判断するための道路や鉄道の遅延・運休等影響予測等、の日常的な気象情報活用にも目を向けるとともに従前から強化した防災活動用のコンテンツに至るまで、自治体業務の広範な部署を対象にした業務利活用を視野に気象情報を自治体のDX推進、スマートシティ化の一助として活用いただけるようなコンテンツに成長させたいと考えています。
- ・また、そもそも気象情報を活用いただく余地のある自治体業務が、どの部署のどのような業務の中で、どのようなシーンで活用いただけそうなのかを見出したいとも考えております。

③事業実施に対し必要な要件

- ・庁内全部門との連絡などの連携
- ・インターネットにつながるシステム環境の準備
- ・事業期間内での試行利用とアンケート回答

④想定スケジュール

令和6年	出水期前半	庁内参加部門の取りまとめ
令和6年	出水期後半	試行利用
令和6年	10月以降	アンケート回収、ヒアリング、成果取りまとめ

⑤地元企業等とのマッチング希望

☐ あり ☒ なし

会社名 : 株式会社ウェザーニュース